

「Innovation for Cool Earth Forum (ICEF)」の実施に
係る国際連携及び情報発信等事業」に係る公募要領

(2023年1月23日)

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構

国際部

【受付期間】

2023年1月23日(月)～2023年2月21日(火) 正午 アップロード完了

【提出先および提出方法】

■Web 入力フォームから、必要情報の入力と提出書類のアップロードを行ってください。

<Web 入力フォーム>

<https://app23.infoc.nedo.go.jp/koubo/qa/enquetes/igppgkprf8wn>

■他の提出方法（持参・郵送・FAX・Eメール等）は受け付けません。

■再提出は受付期間内であれば何度でも可能です。同一の提案者から複数の提案書類が提出された場合は、最後の提出のみを有効とします。

■提出時に受付番号を付与します。再提出時には、初回の受付番号を入力してください。また、再提出の場合は再度、全資料を再提出してください。

■アップロードするファイルは、全てPDF形式ですが、一つのzipファイルにまとめるなど、公募要領の指示に従ってください。なお、各ファイルにはパスワードは付けないでください。

【留意事項】

■登録、応募内容確認、送信ボタンを押した後、受付番号が表示されるため、受付期間内に完了させてください。

■入力・アップロード等の操作途中で提出期限が来て完了できなかった場合は、受け付けません。

■アップロードされたファイルにおいて、ウイルス検知又はその疑い等があると当機構が判断した場合は、調査のため第三者へファイルの提供を行う場合がありますので、予めご了承ください。

■通信トラフィック状況等により、入力やアップロードに時間がかかる場合があります。特に、提出期限直前は混雑する可能性がありますので、余裕をもって提出してください。

「Innovation for Cool Earth Forum (ICEF)」の実施に係る国際連携及び情報発信等事業
に係る公募について
(2023年1月23日)

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（以下「NEDO」という。）は、標記事業の実施者を一般に広く募集いたしますので、本事業について受託を希望する方は、本要領に従い御応募ください。

本事業は、2023年度の政府予算に基づき実施するため、予算案等の審議状況や政府方針の変更等により、公募の内容や採択後の実施計画、概算払の時期等が変更されることがあります。

1. 件名

「Innovation for Cool Earth Forum (ICEF)」の実施に係る国際連携及び情報発信等事業

2. 事業概要

(1) 目的・内容

気候変動問題の解決には、エネルギー・環境分野におけるイノベーションの促進が重要であり、世界の産学官の英知を結集して取り組むことが必要不可欠です。本事業は、社会・技術イノベーションや各国の取組等の最新動向等調査・分析、国際連携の在り方の検討、情報発信等、2023年10月にNEDO及び経済産業省の主催により開催が予定されている「Innovation for Cool Earth Forum (ICEF)」の実施に係る各種業務を行うものです。本事業の詳細な内容につきましては、「仕様書」を御参照ください。

(2) 2023年度 ICEF 概要

・名称

Innovation for Cool Earth Forum (ICEF)

・日時

2023年10月4日（水）・5日（木）予定

・主催

NEDO、経済産業省 等

・参加者

国内外の有識者約800名以上（オンライン聴衆者を含む）

・場所

東京都内（オンライン参加併用のハイブリッド開催の可能性有り）

※詳細は別紙「仕様書」を参照

(3) 委託期間

本事業の委託期間は、NEDOが指定する日から2024年3月31日までとします。本事業のスケジュール等につきましては、別紙「仕様書」を御参照ください。

(4) 予算規模

303,000 千円 (単年度)

予算額内訳目安：別紙「仕様書」5.(1) について 86,000 千円

：別紙「仕様書」5.(2) 及び 5.(3) について 217,000 千円

3. 応募要件

(1) 応募資格

本事業への応募資格は、次の a. から d. までのすべての条件を満たすことができる、単独又は複数で受託を希望する企業等とします。

- a. 環境・エネルギー技術に関する国際的な調査実績および国際的なイベントの運営や大規模会議の運営についてのノウハウや知識を有し、かつ、本事業の内容の遂行に必要な組織、人員を有していること。
- b. 本事業を円滑に遂行するために必要な経営基盤、資金等について十分な管理能力を有していること。
- c. NEDO が本事業を実施する上で必要とする措置を、適切に遂行できる能力、体制を有し、かつ情報管理体制等を有していること。
- d. 個人情報保護の観点から、個人情報の取り扱いに関する社内規程等が整備されていること。

(2) 提案区分

提案にあたっては、別紙「仕様書」における【5.(1) 気候変動対策において注目すべき技術分野に関する調査 (情報の収集・整理)】、【5.(2) ICEF 事務局の運営業務及び 5.(3) 広報、情報発信】のいずれか又は両方を満たす内容である必要があります。

4. 提出期限及び提出先

本公募要領に従って「提案書」を作成し、その他提出書類とともに以下の提出期限までにアップロードを完了させてください。なお、持参、郵送、FAX 又は Eメールによる提出は受け付けません。ただし、NEDO から別途指示があった場合は、この限りではありません。

(1) 提出期限

2023 年 2 月 21 日 (火) 正午アップロード完了 (※)

※応募状況等により、公募期間を延長する場合があります。公募期間を延長する場合は、NEDO ウェブサイトでお知らせします。

なお、NEDO 公式 Twitter をフォローいただくと、ウェブサイトに掲載された最新の公募情報に関するお知らせを Twitter で確認できます。是非、フォローいただき、ご活用ください。

<https://www.nedo.go.jp/nedomail/index.html>

(2) 提出先 : Web 入力フォーム

<https://app23.infoc.nedo.go.jp/koubo/qa/enquetes/igppgkprf8wn>

(3) 提出方法

「(2) 提出先」の Web 入力フォームで以下の①～⑱を入力いただき、⑲、⑳に提出資料をアップロードしてください。アップロードファイル名は、半角英数字とし、アップロードするファイルは提出書類毎に作成してください。

提案書(⑲)については必ず PDF 形式で、提案書以外の書類について(⑳)は全て PDF 形式で、一つの zip ファイルにまとめてください。

なお、アップロードするファイル(PDF、zip等)にはパスワードは付けないでください。

提出時に受付番号を付与します。再提出時には、初回の受付番号を入力してください。再提出の場合は、再度、全資料を再提出してください。

提出された提案書を受理した際には代表法人連絡担当者宛に提案受理のメールを送付いたします。

■入力項目

- ①提案名【プロジェクト名。部分提案の場合は上述の提案区分のうち該当の調査項目を入力】
- ②提案方式【全体提案 or 部分提案】
- ③代表法人番号(13桁)
- ④代表法人名称
- ⑤代表法人連絡担当者氏名【姓と名の間スペース必要】
- ⑥代表法人連絡担当者職位名
- ⑦代表法人連絡担当者所属部署
- ⑧代表法人連絡担当者所属住所
- ⑨代表法人連絡担当者電話番号【ハイフン(ー)不要】
- ⑩代表法人連絡担当者Eメールアドレス
- ⑪提案する方式・方法の内容(要約)【1000文字以内】
- ⑫代表法人業務管理者
- ⑬代表法人業務管理者Eメールアドレス【代表法人連絡担当者と同一の場合記載不要】
- ⑭共同提案法人業務管理者名【複数の場合は列記。該当なしの場合は「なし」と入力】
- ⑮共同提案法人業務管理者Eメールアドレス【同上】
- ⑯実施体制【担当調査区分番号と法人名を入力】
(例: 調査区分5.(1) ××会社、調査区分5.(2) 及び(3) 株式会社△△)
- ⑰提案額【円単位で提案総額を入力】
- ⑱初回の申請受付番号【再提出の場合のみ】
- ⑲提出書類【提案書(PDF)のアップロード(最大100MB)】
- ⑳提出書類【提案書以外の書類(zip形式)のアップロード(最大100MB)】

※次の公募関連書類は、以下の NEDO ウェブサイト（本公募ページ）よりダウンロードできますので御参照ください。

https://www.nedo.go.jp/koubo/AT092_100206.html

- ・仕様書（PDF）
- ・提案書類（WORD）
- －別紙 1：提案書の様式
- －別紙 2：契約に係る情報の公表について
- －別添 1：利害関係の確認について
- －別添 2：ワーク・ライフ・バランス等推進企業に関する認定等の状況について
- －別添 3：NEDO 事業遂行上に係る情報管理体制等の確認票
- ・秘密情報等の管理に係る特別約款（PDF）
- ・調査委託契約書（案）（本公募用に特別に掲載しない場合は、「調査委託契約標準契約書」を指します。）

<https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/yakkan.html>

（４）提出にあたっての留意事項

- ・再提出は受付期間内であれば何度でも可能です。同一の提案者から複数の提案書類が提出された場合は、最後の提出のみを有効とします。
- ・提案書は日本語で作成してください。
- ・登録、応募内容確認、送信ボタンを押した後、受付番号が表示されるまでを受付期間内に完了させてください。（受付番号の表示は受理完了とは別です。）
- ・入力・アップロード等の操作途中で提出期限が来て完了できなかった場合は、受け付けません。
- ・通信トラフィック状況等により、入力やアップロードに時間がかかる場合があります。特に、提出期限直前は混雑する可能性がありますので、余裕をもって提出してください。
- ・提案書に不備があり、提出期限までに修正できない場合は、提案を無効とさせていただきます。
- ・受理後であっても、応募要領の不備が発覚した場合は、無効となる場合があります。

5. 公募説明会の開催

当該公募の内容、契約に係る手続き、提出する書類等についての説明会を次の日程によりオンラインにて開催いたします。説明は日本語で行います。なお、公募説明会への出席は義務ではありませんが、応募を予定される方は可能な限り出席してください。また、公募説明会において、次回 ICEF に関する周辺情報（予約済みの会場候補、セッション内容等）の説明を行う予定です。

<説明会の日時、会場>

日時：2023年2月1日（水）13：30～15：30

会場：オンライン開催（お申込みされた方へ個別にご案内いたします。）

<参加申込み方法>

説明会 2 営業日前の 17 時までに、以下のメールアドレスまで、社名・所属機関名・部署・役職、出席者氏名、出席者の連絡先（TEL 及び E メールアドレス）と参加人数をご連絡ください。

e-mail：international@ml.nedo.go.jp

6. 審査等

（1）審査

以下の審査基準に基づき提案書類を外部有識者による採択審査委員会による審査をします。なお、必要に応じてヒアリングや追加資料の提出等を求める場合がありますので、御了解ください。また、審査の経過等に関するお問い合わせには応じられませんので御了承願います。

（2）審査基準

- ①事業の方法、内容等が優れていること。
- ②環境・エネルギー技術に関する国際的な調査実績を有すること。
- ③国際的イベントや大規模会議の運営に関する十分な知識やノウハウ等を有すること
- ④当該事業を行う総合的な体制が整っていること。
- ⑤事業の経済性が優れていること。
- ⑥経営基盤が確立していること。
- ⑦委託業務管理上 N E D O の必要とする措置を適切に遂行できる体制を有していること。ワーク・ライフ・バランス等推進企業に関する認定等の状況（平成 28 年 3 月 22 日にすべての女性が輝く社会づくり本部において、社会全体で、女性活躍の前提となるワーク・ライフ・バランス等の実現に向けた取組を進めるため、新たに、女性活躍推進法第 24 条に基づき、総合評価落札方式等による事業でワーク・ライフ・バランス等推進企業をより幅広く加点評価することを定めた「女性の活躍推進に向けた公共調達及び補助金の活用に関する取組指針」が決定されました。本指針に基づき、女性活躍推進法に基づく認定企業（えるぼし認定企業・プラチナえるぼし認定企業）、次世代育成支援対策推進法に基づく認定企業（くるみん認定企業・プラチナくるみん認定企業）、若者雇用促進法に基づく認定企業（ユースエール認定企業）に対しては加点評価されることとなります。）

※備考

審査は別紙「仕様書」中「5. 事業内容」における【（1）】、【（2）及び（3）】の 2 つの区分毎に行い、合格基準に達していることを前提に点数の高い方を採択しま

す。したがって他の提案者との再編成をお願いする場合があります。

(3) 委託先の公表及び通知

①採択結果の公表等

採択した案件（実施者名、事業概要）は NEDO のウェブサイト等で公開します。不採択とした案件については、その旨を不採択とした理由とともに提案者へ通知します。なお、案件への応募をもって同意されたものとみなさせていただきますので、御承知願います。

②採択審査員の氏名の公表について

採択審査員の氏名は、採択案件の公開時に公開します。

③附帯条件

採択に当たって条件（他の提案者との再編成、提案した再委託は認めない等）を付す場合があります。

7. 留意事項

(1) 契約及び委託業務の事務処理等について

新規に調査委託契約を締結するときは、最新の調査委託契約約款を適用します。また、委託業務の事務処理は、NEDO が提示する事務処理マニュアルに基づき実施していただきます。委託業務事務処理やプロジェクトマネジメントに関する一連の手続きについては、NEDO が運用する「NEDO プロジェクトマネジメントシステム」を利用していただくことが必須になります。なお、利用に際しては利用規約 (<https://www.nedo.go.jp/content/100906708.pdf>) に同意の上、利用申請書を提出していただきます。

【参考】

- ・ 委託事業の手続き：約款・様式 <https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/yakkan.html>
- ・ 委託事業の手続き：マニュアル <https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/manual.html>

(2) 国立研究開発法人から民間企業への再委託

国立研究開発法人から民間企業への再委託又は共同実施（再委託先又は共同実施先へ資金の流れがないものを除く。）は、原則認めておりません。

(3) ワーク・ライフ・バランス等推進企業に関する認定等の状況

提案書の実施体制に記載される委託先について、女性活躍推進法に基づく認定（えるぼし認定企業・プラチナえるぼし認定企業）、次世代育成支援対策推進法に基づく認定（くるみん認定企業・プラチナくるみん認定企業）、若者雇用促進法に基づく認定（ユースエール認定企業）の状況を記載していただきます。詳細は『ワーク・ライフ・バランス等推進企業に関する認定等の状況について』を御覧ください。

(4) NEDO 事業遂行上に係る情報管理体制等の確認票及び対応するエビデンス

提案書の実施体制に記載する全ての提案者（再委託等は除く。）において、調査を実施する上で取得又は知り得た保護すべき一切の情報（機微情報）に関して、機微情報の保持に留意して漏えい等防止する責任を負うことから、確認票及び対応するエビデンスを提出していただきます。なお、情報管理体制等を有することを提案者の応募要件としているため、全ての確認項目に対して、対応する必要があります。（仮に、未対応の場合には応募要件を満たさないものとなります。）

(5) 公的研究費の不正な使用及び不正な受給への対応

公的研究費の不正な使用及び不正な受給（以下「不正使用等」という。）については、「公的研究費の不正な使用等の対応に関する指針」（平成 20 年 12 月 3 日経済産業省策定。以下「不正使用等指針」という。※1）及び「補助金交付等の停止及び契約に係る指名停止等の措置に関する機構達」（平成 16 年 4 月 1 日 16 年度機構達第 1 号。NEDO 策定。以下「補助金停止等機構達」という。※2）に基づき、当機構は資金配分機関として必要な措置を講じることとします。併せて本事業の事業実施者も研究機関として必要な対応を行ってください。

本事業及び府省等の事業を含む他の研究資金において、公的研究費の不正使用等があると認められた場合、以下の措置を講じます。

※1. 「不正使用等指針」についてはこちらを御参照ください： 経済産業省ウェブサイト
http://www.meti.go.jp/policy/economy/gijutsu_kakushin/innovation_policy/kenkyu-fusei-shishin.html

※2. 「補助金停止等機構達」についてはこちらを御参照ください： NEDOウェブサイト
https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/kokuhatu_index.html

a. 本事業において、公的研究費の不正使用等があると認められた場合

- i. 当該研究費について、不正の重大性などを考慮しつつ、全部又は一部を返還していただきます。
- ii. 不正使用等を行った事業者等に対し、当機構との契約締結や補助金等の交付を停止します。
（補助金停止等機構達に基づき、処分した日から最大 3 年間の契約締結・補助金等交付の停止の措置を行います。）
- iii. 不正使用等を行った研究者及びそれに共謀した研究者（善管注意義務に違反した者を含む。以下同じ。）に対し、当機構の事業への応募を制限します。
（不正使用等指針に基づき、不正の程度などにより、原則、当該研究費を返還した年度の翌年度以降 1～5 年間の応募を制限します。また、私的な流用が確認された場合には、10 年間の応募を制限します。）
- iv. 府省等他の資金配分機関に対し、当該不正使用等に関する措置及び措置の対象者等について情報提供します。このことにより、不正使用等を行った者及

びそれに共謀した研究者に対し、府省等他の資金配分機関の研究資金への応募が制限される場合があります。また、府省等他の資金配分機関からNEDOに情報提供があった場合も同様の措置を講じることがあります。他府省の研究資金において不正使用等があった場合にも i ~ iii の措置を講じることがあります。

- v. 不正使用等の行為に対する措置として、原則、事業者名（研究者名）及び不正の内容等について公表します。

b. 「公的研究費の不正な使用等の対応に関する指針」（平成 20 年 12 月 3 日経済産業省策定）に基づく体制整備等の実施状況報告等について

本事業の契約に当たり、各研究機関では標記指針に基づく研究費の管理・監査体制の整備が必要です。

体制整備等の実施状況については、報告を求める場合がありますので、求めた場合、直ちに報告するようにしてください。なお、当該年度において、既に、府省等を含め別途の研究資金への応募等に際して同旨の報告書を提出している場合は、この報告書の写しの提出をもって代えることができます。

また、当機構では、標記指針に基づく体制整備等の実施状況について、現地調査を行う場合があります。

(6) 研究活動の不正行為への対応

研究活動の不正行為（ねつ造、改ざん、盗用）については「研究活動の不正行為への対応に関する指針」（平成 19 年 12 月 26 日経済産業省策定。以下「研究不正指針」という。※3）及び「研究活動の不正行為への対応に関する機構達」（平成 20 年 2 月 1 日 19 年度機構達第 17 号。NEDO策定。以下「研究不正機構達」という。※4）に基づき、当機構は資金配分機関として、本事業の事業実施者は研究機関として必要な措置を講じることとします。そのため、告発窓口の設置や本事業及び府省等他の研究事業による研究活動に係る研究論文等において、研究活動の不正行為があると認められた場合、以下の措置を講じます。

※3. 研究不正指針についてはこちらを御参照ください：経済産業省ウェブサイト

https://www.meti.go.jp/policy/economy/gijutsu_kakushin/innovation_policy/kenkyu-fusei-shishin.html

※4. 研究不正機構達についてはこちらを御参照ください：NEDOウェブサイト

https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/kokuhatu_index.html

- a. 本事業において不正行為があると認められた場合
 - i. 当該研究費について、不正行為の重大性などを考慮しつつ、全部又は一部を返還していただくことがあります。
 - ii. 不正行為に関与した者に対し、当機構の事業への翌年度以降の応募を制限します。

(応募制限期間：不正行為の程度などにより、原則、不正があったと認定された年度の翌年度以降 2～10 年間)

- iii. 不正行為に関与したとまでは認定されなかったものの、当該論文等の責任者としての注意義務を怠ったことなどにより、一定の責任があるとされた者に対し、当機構の事業への翌年度以降の応募を制限します。

(応募制限期間：責任の程度等により、原則、不正行為があったと認定された年度の翌年度以降 1～3 年間)

- iv. 府省等他の資金配分機関に当該不正行為に関する措置及び措置の対象者等について情報提供します。このことにより、不正行為に関与した者及び上記 iii により一定の責任があるとされた者に対し、府省等他の資金配分機関の研究資金による事業への応募が制限される場合があります。また、府省等他の資金配分機関から N E D O に情報提供があった場合も同様の措置を講じることがあります。
- v. N E D O は不正行為に対する措置を決定したときは、原則として、措置の対象となった者の氏名・所属、措置の内容、不正行為が行われた研究資金の名称、当該研究費の金額、研究内容、不正行為の内容及び不正の認定に係る調査結果報告書などについて公表します。

b. 過去に国の研究資金において不正行為があったと認められた場合

国の研究資金において、研究活動における不正行為があったと認定された者(当該不正行為があったと認定された研究の論文等の内容について責任を負う者として認定された場合を含む。)については、研究不正指針に基づき、本事業への参加が制限されることがあります。

なお、本事業の事業実施者は、研究不正指針に基づき研究機関として規定の整備や受付窓口の設置に努めてください。

c. N E D O における研究不正等の告発受付窓口

N E D O における公的研究費の不正使用等及び研究活動の不正行為に関する告発・相談及び通知先の窓口は以下のとおりです。

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 リスク管理統括部

〒212-8554 神奈川県川崎市幸区大宮町 1310

電話番号： 044-520-5131

FAX 番号： 044-520-5133

Eメール：helpdesk-2@ml.nedo.go.jp

ウェブサイト： 研究活動の不正行為及び研究資金の不正使用等に関する告発受付窓口 <https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/kokuhatu_index.html>

(電話による受付時間は、平日：9時30分～12時00分、13時00分～18時00分)

(7) RA（リサーチアシスタント）等の雇用

第6期科学技術・イノベーション基本計画においては、優秀な学生、社会人を国内外から引き付けるため、大学院生に対する経済的支援を充実すべく、数値目標が掲げられています。

本プロジェクトにおいても、RA（リサーチアシスタント）等の研究員登録が可能であり、本プロジェクトにて、研究員費を支払うことが可能です。

なお、本プロジェクトを通じて知り得る秘密情報を取り扱う RA 等は、NEDO と契約を締結する大学組織との間で、守秘義務を含む雇用契約を締結されている必要があります。本プロジェクトに直接に従事する者は、全て研究員登録を行う必要があります。

【参考】

- ・ 第6期科学技術・イノベーション基本計画
<https://www8.cao.go.jp/cstp/kihonkeikaku/index6.html>
- ・ 研究力強化・若手研究者支援総合パッケージ
<https://www8.cao.go.jp/cstp/package/wakate/wakatepackage.pdf>
- ・ ポストドクター等の雇用・育成に関するガイドライン
https://www.mext.go.jp/content/20201203-mxt_kiban03-000011852_1.pdf

(8) 国立研究開発法人の契約に係る情報の公表

「独立行政法人の事務・事業の見直しの基本方針」（平成22年12月7日閣議決定）に基づき、採択決定後、のとおり、NEDOとの関係に係る情報をNEDOのウェブサイトで公表することがございます。御理解と御協力のほどよろしくお願いいたします。なお、案件への応募をもって同意されたものとみなさせていただきますので、御了知願います。詳細は、「契約に係る情報の公表について」をご確認ください。

(9) 安全保障貿易管理について（海外への技術漏洩への対処）

- a. 我が国では、我が国を含む国際的な平和及び安全の維持を目的に、外国為替及び外国貿易法（昭和24年法律第228号）（以下「外為法」という。）に基づき輸出規制※が行われています。外為法で規制されている貨物や技術を輸出（提供）しようとする場合は、原則外為法に基づく経済産業大臣の許可を受ける必要があります。

※我が国の安全保障輸出管理制度は、国際合意等に基づき、主に①炭素繊維や数値制御工作機械などある一定以上のスペック・機能を持つ貨物（技術）を輸出（提供）しようとする場合に、原則として、経済産業大臣の許可が必要となる制度（リスト規制）と②リスト規制に該当しない貨物（技術）を輸出（提供）しようとする場合で、一定の要件（用途要件・需要者要件又はインフォーム要件）を満たした場合に、経済産業大臣の許可を必要と

する制度（キャッチオール規制）から成り立っています。

- b. 貨物の輸出だけでなく技術提供も外為法の規制対象となります。リスト規制技術を外国の者（非居住者）（2022年5月1日以降は特定類型※に該当する居住者を含む。）に提供する場合等は、その提供に際して事前の許可が必要です。技術提供には、設計図・仕様書・マニュアル・試料・試作品などの技術情報を、紙・メール・CD・USBメモリなどの記録媒体で提供することはもちろんのこと、技術指導や技能訓練などを通じた作業知識の提供やセミナーでの技術支援なども含まれます。外国からの留学生の受入れや、共同研究等の活動の中にも外為法の規制対象となり得る技術のやりとりが多く含まれる場合があります。

※非居住者の影響を強く受けている居住者の類型のことを言い、「外国為替及び外国貿易法第25条第1項及び外国為替令第17条第2項の規定に基づき許可を要する技術を提供する取引又は行為について」1. (3)サ①～③に規定する特定類型を指します。

- c. 本委託事業を通じて取得した技術等を輸出（提供）しようとする場合についても、規制対象となる場合がありますのでご注意ください。経済産業省から指定のあった事業については委託契約締結時において、本委託事業により外為法の輸出規制に当たる貨物・技術の輸出が予定されているか否かの確認、及び、輸出の意思がある場合は、管理体制の有無について確認を行います。輸出の意思がある場合で、管理体制が無い場合は、輸出又は本委託事業終了のいずれか早い方までの体制構築を求めます。なお、同確認状況については、経済産業省の求めに応じて、経済産業省に報告する場合があります。また、本委託事業を通じて取得した技術等について外為法に係る規制違反が判明した場合には、契約の全部又は一部を解除する場合があります。

- d. 安全保障貿易管理の詳細については以下をご覧ください。

- ・ 経済産業省：安全保障貿易管理（全般） <https://www.meti.go.jp/policy/ampo/>
（Q&A） <https://www.meti.go.jp/policy/ampo/qanda.html>）
- ・ 一般財団法人安全保障貿易センター モデル内部規程
<https://www.cistec.or.jp/export/jisyukanri/modelcp/modelcp.html>）
- ・ 安全保障貿易ガイダンス（入門編）
<https://www.meti.go.jp/policy/ampo/guidance.html>
- ・ 安全保障貿易に係る機微技術管理ガイダンス（大学・研究機関用）
https://www.meti.go.jp/policy/ampo/law_document/tutatu/t07sonota/t07sonota_jisyukanri03.pdf
- ・ 大学・研究機関のためのモデル安全保障貿易管理規程マニュアル
<https://www.meti.go.jp/policy/ampo/daigaku/manual.pdf>

8. 問い合わせ

本公募に関するお問い合わせは、以下の問い合わせ先まで件名に「【ICEF2023 公募】（社名・所属機関名）」をご記入の上、Eメールでお願いします。

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構

国際部 ICEF 担当 近藤、長谷川、岩附

Eメール：international@ml.nedo.go.jp

9. NEDO 事業に関する業務改善アンケート

NEDO では、NEDO 事業に関する業務改善アンケートを常に受け付けております。ご意見のある方は、以下リンクの「7. NEDO 事業に関する業務改善アンケート」から、ご意見をお寄せいただければ幸いです。なお、内容については、本調査に限りません。

https://www.nedo.go.jp/shortcut_jigyuu.html

以上